

⑤一般県道下里見安中線西毛広域幹線道路安中工区

受賞機関 群馬県 安中土木事務所

キーワード 強靱な道路ネットワーク、新技術の活用、
良好な景観形成

全建賞審査委員会の評価ポイント

災害時の強靱な道路ネットワークを構成する広域幹線道路の整備。新技術を活用してトンネル覆工コンクリートの品質、耐久性の向上を図るとともに、浅間山などの眺望を阻害しないよう、安全施設や工事看板等の色彩及び形状を統一することにより良好な景観を維持しながら、整備を完了したことが評価された。

1. はじめに

西毛広域幹線道路は、前橋市千代田町から富岡市富岡へ至る全長27.8kmの道路であり、近年頻発化・激甚化する気象災害の脅威にしっかりと対応できる強靱な道路ネットワーク（レジリエンスネットワーク）に位置づけられている。

この道路は、大規模な災害時の広域的な救命救助や被災地への支援助物資輸送、経済活動の継続性の確保などを目的として整備を進めている。

2. 事業の概要

西毛広域幹線道路安中工区は、安中市下秋間から国道18号までの約1.9kmの区間として平成24年度に事業着手し、令和3年3月25日に安中市内の西毛広域幹線道路としては初めて開通した。

事業推進にあたっては、各種構造物のライフサイクルコストの縮減に繋がる新技術の活用や良好な景観形成を特に配慮した。

具体的な取り組みとして、安中トンネルの覆工コンクリート施工において「セントル型枠表面のセラミック加工」と「養生バルーン」を活用し、コンクリート品質と耐久性向上を図った。



養生バルーン設置状況

さらに、自然豊かな地域を通過し上毛三山の一つである妙義山と、浅間山などの眺望に優れることから、道路両側の100mを景観誘導区域に指定し屋外広告物を規制するとともに、車両用防護柵にガードパイプを用いることで、道路からの眺望を確保した。また、車両用防護柵、転落防止柵、橋梁高欄、案内標識柱、大型案内標識板、道路情報板の色を全てグレーベージュとすることで、色彩の統一を図ることにより良好な外部景観を形成した。

3. 事業の成果

安中市秋間地域と国道18号の間の道路は、狭隘かつ線形の悪い区間が多く自然災害による道路寸断の懸念があったが、開通により災害にも強い強靱な道路が整備され、この区間のリダンダンシー機能（代替路）が確保された。また、安中市内から北陸新幹線の安中榛名駅へのアクセス性も向上し、高速交通網との連携が強化された。



安中工区の開通後の様子

4. おわりに

西毛広域幹線道路は、災害時における交通機能の確保だけでなく、周辺地域の渋滞緩和や移動時間短縮による物流の効率化、観光地の周遊性の向上による観光振興なども期待されており、一日も早い全線開通を目指し鋭意事業推進を図りたい。

賛助会員 川田建設(株)、(株)ピーエス三菱、中央コンサルタンツ(株)、セントラルコンサルタンツ(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)